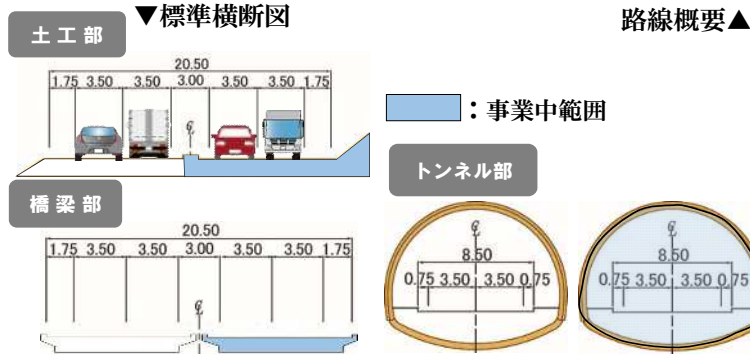


1.事業概要



【事業概要】

- ◆計画内容: 暫定2車線区間の4車線化
- ◆計画延長: 7.3km
- ◆車線幅員: 3.5m
- ◆車線数: (現状) 暫定2車線 (計画) 完成4車線
- ◆計画交通量: 約12,300～12,800台/日 (令和22年)
- ◆事業許可(4車線化): 平成30年3月
- ◆事業費: 約510億円(うち4車線化事業 約250億円)



2.事業の進捗状況

- 隼人西IC～加治木IC間は、令和4年11月30日に4車線供用開始。
- 隼人東IC～隼人西IC間は、令和6年度開通に向け、トンネル、橋梁工事等を推進中。
- 工事着手率100%



3.事業の主な整備効果①(地域産業の活性化)

※H30.3.16社会資本整備審議会 第16回事業評価部会の評価時点から大きな変化なし

- 霧島市の製造品出荷額等は約3,300億円、鹿児島県内第2位で約2割を占める。
- また、近年の半導体関連分野等の製造・出荷が好調であることから、既往の工場の増設や市への立地に関する問合せが増加。
- 4車線化により、輸送の効率化や確実性が向上することで、地域基幹産業のさらなる拡大が期待される。

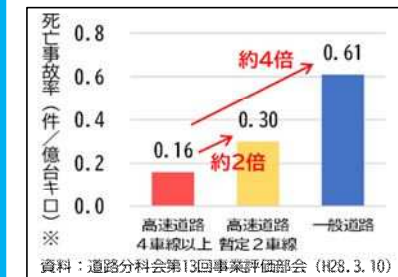


霧島市事業立地数の推移

3.事業の主な整備効果②(安全・安心)

※H30.3.16社会資本整備審議会 第16回事業評価部会の評価時点から大きな変化なし

- 対面通行による暫定2車線区間は、死亡事故となる割合が高い。
- 4車線化により中央分離帯が設置されることで、安全性のさらなる向上が期待される。
- 隼人西IC～加治木ICにおいては、令和4年4月より対面通行が解消されたことで、道路利用者からは安全性の向上を実感する声があがっている。



隼人西IC～加治木ICの対面通行解消

4車線化工事が進んだことで、隼人西IC～加治木IC(延長3.6km)では令和4年4月22日より対面通行が解消(※令和4年11月30日に4車線完成)

《道路利用者の声》

- 事故等の危険性が減少したので安心して利用できます。
- 対面からの飛び出し事故のリスクが減少しています。
- 運転時の緊張感が緩和されました。
- 対向車との事故の危険性が減少しています。
- 安全性が増しました。

3.事業の主な整備効果③(ネットワークの信頼性向上)

※H30.3.16社会資本整備審議会 第16回事業評価部会の評価時点から大きな変化なし

- 工事や事故、災害等による通行止が発生した場合、一般道のう回により所要時間が増加。
- 4車線化により車線規制等による維持補修の工事や点検が実施可能となり、通行止め回数が減少することで、暫定2車線時と比べ信頼性の向上が期待される。



4.費用対効果分析の結果

- 便益(B)**: 費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である項目について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。
- 費用(C)**: 道路整備に係る建設費及び維持管理費で算出。

■算出条件

- 基準年: 令和4年度
- 適用費用便益分析マニュアル: 令和4年2月
- 交通量推計の基礎データ: 平成27年度全国道路街路・交通情勢調査(推計年度: 令和22年度)

項目	便益(B) (現在価値: R4)			費用(C) (現在価値: R4)			費用便益比(B/C)	
	事業全体	残事業	計	事業全体	残事業	計	事業全体	残事業
便益(B)	3,137億円	390億円	4,052億円	1,135億円	107億円	1,297億円	3.1	3.7
費用(C)	799億円	22億円	413億円	162億円	3億円	111億円		

注) B/Cの算定に用いる事業費は、現在価値に換算した事業費であり、事業概要に記載している事業費とは異なる。

5.対応方針(原案)

【事業継続】

- 関係機関の協力を得ながら、定時性や信頼性の向上など道路機能を早期に強化すべく、4車線化事業の進捗を図っていく。